

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(生)甲第253号	氏名	本田 藍
学位審査委員	主査 副査 副査	中村 修 吉田 謙太郎 戸田 清	
<p>本田藍氏は、2008年3月に長崎大学大学院生産科学研究科博士前期課程を修了後、2008年4月に本学大学院生産科学研究科博士後期課程に進学し、現在に至っている。同氏は、生産科学研究科博士後期課程に進学以降、環境科学を専攻して所定の単位を修得するとともに、健康教育に関する研究に従事し、その成果を2010年12月に主論文「義務教育における生活習慣病の予防を目的とした食育に関する研究」として完成させ、参考論文として、学位論文の印刷公表論文4編（うち審査付きの印刷公表論文2編）、印刷公表予定論文1編（審査付き論文）、学位論文の基礎となる論文1編を付して、博士（学術）の学位の申請をした。</p> <p>長崎大学大学院生産科学研究科教授会は、2010年12月15日の定例教授会において論文内容等を検討し、本論文を受理して差し支えないものと認め、上記の審査委員を選定した。委員は主査を中心に論文内容について慎重に審議し、公開論文発表会を実施するとともに、最終試験を行い、論文審査および最終試験の結果を2011年2月16日の生産科学研究科教授会に報告した。</p> <p>本論文では、生活習慣病対策がほとんど実施されていない義務教育期の小中学生に注目し、小中学生を対象にした生活習慣病を予防する食育プログラムを作成したものである。</p> <p>まず、①小中学校における生活習慣病予防教育の実施状況、②小中学校における生活習慣病予防を目的とした食育の重要性、を調査により明らかにした。そのうえで、生活習慣病予防を目的とした食育プログラムを作成し提案した。</p> <p>本研究は、健康教育の分野においてもほとんど例がなく、ポピュレーションアプローチ（集団アプローチ）としての具体的で効果的な手法として高く評価される。また同時に、児童の生活習慣病予防ひいては成人の予防という意味においても、社会的に意義ある研究である。</p> <p>以上のように本論文は、ポピュレーションアプローチ（集団アプローチ）による健康教育および健康教育研究に関して多大の寄与をするものと評価できる。</p> <p>学位審査委員会は、健康教育研究の分野において極めて有益な成果を得るとともに、ポピュレーションアプローチ手法の進歩発展に貢献するところが大きく、博士（学術）の学位に値するものとして合格と判定した。</p>			